



平成28年度

第2回 みみらんどセミナー

「きこえの基礎知識」

☆ 実施日時 ☆ 平成28年 6月22日(水) 13:15~14:45

☆ テーマ ☆ 「きこえの基礎知識」

☆ 講師 ☆ 福島県立聾学校福島分校
教諭 三瓶 伸江 先生
(特別支援教育コーディネーター)



今回のみみらんどセミナーは、「耳の構造ときこえの仕組み」「難聴の種類と原因」の内容に合わせて、「難聴のきこえ」ということで、聞こえる人のきこえ・30dB下がったきこえ・高音が入りにくいきこえを20名の参加者に体験していただきました。

子どもたちは、毎日小さく歪んでいる音を頼りに生活しているため、補聴器や人工内耳、FM補聴システム等の活用によって聴覚補償をすることがとても大切です。また、聞こえにくさや情報の入りにくさは、発達に及ぼす影響(言語発達・コミュニケーション・社会性)も大きいため、それらの困難さに配慮した日々の関わり方やことばのかけ方、学習のポイント等重要なことを確認することができました。

国語科の指導の実際 (VTRで紹介: 1年「サラダでげんき」 2年:「たんぼぼのちえ」)



○「書く力」をつける。: 絵日記の取り組みが有効。
→書き言葉は話し言葉を土台に発達するので、日常生活での会話が大切。

○「考える力」をつける。→考える場面を多く作ることが大事。

○日本語のリズムを大事にした読み方や日本語独特の表現(例: せかせか)を大切に・・・。

【卒業生から保護者の皆様へのメッセージもいただきました】(原文のまま)



全て保護者が決めるのではなく、子どもたちの声を聞いてあげてください。もしかしたら、手話を覚えて欲しい子どももいるかもしれません。口話・手話に限らず、コミュニケーションが豊かにできる人になってほしいと思います。筆談もありますよ。

子どもたちの夢はいっぱいあるはずです。耳が聞こえない理由で諦めないでください!!

《 参加者の感想 》

○聞こえの体験をしてみて、こんなにも聞こえにくいのかと正直驚きました。

○実際の授業風景も拝見し、どんなことが難しいのか・どう関わればよいのか等、具体的にイメージが持てました。

○卒業生の話に涙がこみあげました。また勉強させてください。